

**研究課題名：母子分離が哺乳確立に及ぼす影響
～コロナウイルス陽性の母親から生まれた児の調査～**

1. 研究の対象

2022年1月～2024年4月の間に当院で出産されたコロナウイルスに罹患した妊婦さんとその母親から生まれた児

2. 研究目的・方法

コロナウイルス罹患のため、分娩直後より母子分離を余儀なくされた児の哺乳状況を調査し、母乳育児確立に影響を及ぼす要因を明らかにすることで、今後の家族支援につなげていくことを目的としています。本研究は、電子カルテの看護記録や助産録を用いて、初回直接哺乳時、2週間検診・1か月検診時の新生児と母の直接哺乳の状況について追跡調査を行います。研究実施期間は当院倫理審査承認後～2025年3月を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

看護記録や助産録から、児の哺乳状況や母の直接授乳時の様子、母の産科的属性（年齢、分娩歴、サポート体制の有無など）などの情報を収集します。

4. 外部への情報の提供

本研究で用いた情報は当院の研究責任者が鍵のついたロッカーで保管・管理します。また、研究終了後は速やかに破棄させていただきます。

5. お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

6. 研究責任者

四国こどもとおとなの医療センターGCU病棟：看護師 大西 里奈
研究への利用を拒否する場合の連絡先：0877 (62) 1000